

71 ディスクチッパーによる 木材チップサイズ調整技術



WebA°-ジ°

技術のポイント

製紙用の木材チップの製造にはディスクチッパーという機械が使用されています。近年では、ディスクチッパーはガス化熱電併給(CHP)装置用の燃料チップの製造等にも使用されています。しかしCHP装置用チップの製造では、チップサイズが製紙原料用とは異なるため、生産歩留まりが低くなる場合があります。そこで、ディスクチッパーの切削条件の調整で、木材チップのサイズを制御する技術を開発しました。

連携・橋渡しの方向

ディスクチッパーで、CHP装置用木材チップや、その他従来とは異なったサイズのチップを生産性高く製造する技術に興味があるメーカーの方との連携を希望します。

詳細情報

・論文等： Journal of Wood Science 71:1, (2025)

担当者

木材加工・特性研究領域・松田陽介



図1 ディスクチッパーで製造されたチップの分級結果の一例

ディスクチッパーで製造されたチップには様々な大きさのものが混在しており、その割合が切削条件によって変化することを明らかにしました。

謝辞

本研究は、生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(JPJ007097)の支援を受けて実施しました。ここに記し謝意を表します。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>